

3年4組 国語科学習指導案

日 時 平成28年

場 所

授業者

1 単元名 私にぴったりの論語

第3学年「C 読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

学習材 「学びて時にこれを習ふ―『論語』から」

2 単元のねらいと概要

本単元では、「論語という短い文章を読んで、人としての生き方について考え、自分の意見をもつ力」（読むことエ 自分の考えの形成）を高めることをめざしている。論語のさまざまな章句を読むことを通して、書かれている内容や価値観を感じ取る力を高めながら、言語活動「論語のさまざまな章句を自分の体験や性格などから比較し、自分にふさわしい章句を選ぶ」を行う。

本校の職員室前廊下には、「学而不厭」という湯川秀樹書の扁額が掲げられている。日本人で初めてノーベル賞を受賞した偉人にふさわしい言葉である。これを参考にして、義務教育9か年の終了が近づいてきた生徒にとって、本単元を通して自分の将来を見据え、これまでの自分を振り返るきっかけとしたい。また、論語のさまざまな章句に出会い、自分にふさわしいものを選び、その章句をこれからも心にもち続けることによって、今後の自分を律することにもつながるようにしたい。

3 単元の目標

- (1) 論語のさまざまな章句を進んで読み、自分自身と関わらせながら読み味わうことによって、自分の意見をもとうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 論語のさまざまな章句を読み比べ、自分自身との関わりをもとに評価してふさわしい章句を選ぶことができる。
(読むこと ウ 自分の考えの形成)
論語の章句を読み、そこに表れている人としての生き方を考え、自分なりの意見をもつことができる。
(読むこと エ 自分の考えの形成)
- (3) 論語の章句を引用して、自分と古典に関わる簡単な文章を書くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア (イ))

4 言語活動について（学力・学習状況調査分析）

論語のさまざまな章句を自分の体験や性格などから比較し、自分にふさわしい章句を選ぶ。

論語の章句を自分自身と関わらせて読み味わうことで、章句に表れている人としての見方や考え方、生き方をより確かに想像することができ、根拠を明確にして自分の考えをもつことができると考えられる。また、自分との関わりを考えることにより、単元でめざす力の定着も図ることができると考える。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 論語のさまざまな章句に関心をもち、自分自身と関わらせながら読み味わい、自分の意見をもととしてしている。	① 論語のさまざまな章句を読み比べて、自分自身との関わりをもとに評価してふさわしい章句を選んでいる。 (ウ 自分の考えの形成) ② 自分にふさわしい論語の章句を、自分のこれまでの体験や生活などと結び付けて考え、自分なりの意見をもっている。(エ 自分の考えの形成)	① 論語のさまざまな章句からふさわしいものを選び引用することで、自分と古典を結び付けた文章を書いている。 (1) ア (イ)

6 指導と評価の計画 (全3時間)

時	主たる学習活動	評価規準	評価方法
1	<p>論語を理解し、代表的な章句を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の見通しをもち、孔子や論語についての基礎的な知識をもつ。 ○ 論語の代表的な章句を繰り返し音読し、漢文独特の文体に読み慣れ、自分にふさわしい章句について考えてみる。 	国語への関心・意欲・態度①	発言内容 観察・ノート
2 本時	<p>自分たちの班にふさわしい章句を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 13の章句が掲載されている「国語便覧」を使用して、論語のさまざまな章句の中から、自分たちの班にふさわしい章句を選ぶ。 	国語への関心・意欲・態度① 読む能力①② 言語についての知識・理解・技能①	発言内容 観察・ノート プリント
3	<p>自分にふさわしい章句を互いに紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が選んだ章句は、どのような観点で選んだのかを書く。 ○ 自分が選んだ章句を仲間と紹介し合い、感想を述べ合う。 	読む能力② 言語についての知識・理解・技能①	発言内容 観察・ノート プリント

7 単元構想表

単元（教材）名 私にぴったりの論語 「学びて時にこれを習ふ—『論語』から」 全3時間

重点指導事項 エ

言語活動例	ア 物語や小説などを読んで批評すること。			
指導事項	重点化	学習活動	評価規準	時
ア	論語のさまざまな章句を自分の体験や性格などから比較し、自分にふさわしい章句を選ぶ。	論語のさまざまな章句に書かれている語句の意味を理解し、表現上の工夫に注意して読む。		1 ・ 2
イ		論語のさまざまな章句に書かれた言葉の順序をとらえ、内容の理解に役立てる。		1 ・ 2
ウ		○ 論語のさまざまな章句を読み比べ、その内容や価値をもとに、自分にふさわしい章句を選ぶ。	論語のさまざまな章句を読み比べて、自分自身との関わりをもとに評価してふさわしい章句を選んでいる。	2 ・ 3
エ		◎ 論語のさまざまな章句から、自分にふさわしい章句の理由を、自分の体験や生活などと結び付けて考える。	自分にふさわしい論語の章句を、自分のこれまでの体験や生活などと結び付けて考え、自分なりの意見をもっている。	2 ・ 3
オ			自分にふさわしい論語の章句を選ぶという目的をもって、書かれている内容の知識を広げる。	2
関連する伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		(1) ア (イ)	古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書く。	論語のさまざまな章句からふさわしいものを選び引用することで、自分と古典を結び付けた文章を書いている。
国語への関心・意欲・態度に関する評価			論語のさまざまな章句に関心を持ち、自分自身と関わらせながら読み味わい、自分の意見をもとうとしている。	

8 本時のねらい

自分たちの班にふさわしい章句を選ぶという目的をもって論語のさまざまな章句を読み取ることを通して、自分たちのこれまでの体験や大切にしてきたことなど、自分自身と関わらせながら選ぶことは大切なことだということに気付き、今の自分たちにいちばんふさわしい章句を価値付けて選ぶことができる。

＜人権・同和教育の観点＞

自分たちの班にふさわしい章句を、仲間と意見を出し合って決めることができる。（行動力）

9 本時の展開（2／3）

授業前 論語という短い文章を読んで、人としての生き方について考え、自分の意見をもつ力について	
<p>◎つかむ これまでの評価の分析から、単元の付けたい力に対する評価を明確にする。 第3回定期テスト作文問題「日ごろ必ず行っている日課や習慣の中で、自分自身を律していると考えられるもの」A（10点）：14人 B（1～9点）：15人 C（0点）：8人→個別指導が必要</p>	
	<p>学 習 活 動</p>
導	<p>① 自分が調べた論語の章句を紹介する。 ② 職員室前廊下の扁額を実際に見て、湯川氏の経歴と書かれた内容を理解する。 ○湯川氏はどうして論語から「学而不厭」の言葉を選んで書いたのか考えましょう。 ③ 自分の班にふさわしい章句を見つけようとする意欲をもつ。 <u>自分の班にぴったりな論語の言葉を見つけよう。</u> ④ 「国語便覧」を用いて、論語のさまざまな章句を読み、書かれている内容を理解し、自分の班にふさわしい論語の章句を見つける。 ○自分の班にぴったり合う論語の言葉を見つけ、その理由をみんなに紹介できるようにしましょう。 ・仲がよいだけでなく、正しいことができるように注意し合ったから、「徳孤ならず、必ず隣有り。」にしよう。 ・受け身で学ぶだけでなく、進んで考えることもできた仲間だった。だから「学びて思はざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し。」にする。 ・責任をもって仕事をすることができた。だから「君子は諸を己に求む。小人は諸を人に求む。」にしよう。 ⑤ 自分が選んだふさわしい章句について、班の仲間と交流し、決定する。 ○自分たちが選んだ言葉を互いに紹介し、決めましょう。 ・正しいことを追求してきた班だから、「過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ。」こそぴったりだと思う。 ・さらによい班にしていきたい。だから、「己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」がよいのではないか。 ⑥ どのような観点で選んだのかをノートに書き込む。 ⑦ 自分たちの班にふさわしい章句を確実に見つけることができたかどうかを確認する。（定着状況の見届け） ⑧ 授業のまとめとして、自分たちが選んだ章句のよさについて書く。</p>
入	<p>指導上の留意点（○指導 ◎評価）</p> <p>○論語のさまざまな章句を読み取るという本時の学習を想起させる。 ◎つかむ 湯川氏の扁額を見て考えることをもとに、自分たちの班にふさわしい章句があるかどうか確認する。 （実態の見届け） ○自分たちのこれまでの姿や班で大切にしてきたことを観点として、見つけた章句を自分で価値付けられるようにする。 ○ふさわしい章句が見つけれない生徒のために、参考となるヒントカードを配布する。 ・机間指導を通して、どのような観点でどの章句を選んだのかを把握する。 （学習状況の見届け） ○これまでの体験や自分たちが大切にしてきたことなど、どのような観点で章句を選ぶとよいかというヒントを、個別に与える。 ◎伸ばす 交流の視点として、論語の章句に表れている価値観と自分たちの生活とをつないで考えているかを確認する。</p>
展	<p>評価規準 読む能力① さまざまな論語の章句から、自分たちで決めた観点のもとに、自分たちの班にふさわしい章句を選んでいる。 評価方法 発言内容・ノートやプリントの記述 Aと判断するキーワード等 ・具体的な観点 ・進んで仲間を紹介する姿 努力を要する生徒への指導 ふさわしい章句が見つけれない生徒に、ヒントとなる資料を配布する。 家庭学習につなげるために 自分自身にふさわしい章句を、本時と同じような観点で選ぶ。</p>
開	
終	
末	
	<p>家庭学習での評価 論語という短い文章を読んで、人としての生き方について考え、自分の意見をもつ力について</p> <p>◎確かめる 「自分自身にふさわしい論語の章句を、本時と同じような観点で考えてくる。」という家庭学習についての評価を行い、次時の授業の導入における◎つかむ評価とする。</p>

